



樹妙だより

No.222 2026/2.3



第4期生徒会 挨拶運動



大学共通テスト出陣式



校内書き初め大会



歳末助け合い募金

慈 悲 喜 捨

人が成長するためには、主体性を身につけることが大切といわれています。主体性とはどのようなことなのでしょう。

主体性は、周囲の意見や指示に頼らず、自らの考えによって行動を起こすことです。例えば、学校では先生の指示だけに頼らず、自ら課題を探して自学自習をすることです。そして、主体性の基本は、「自責思考」といわれ、自らの考えと行動に責任を持つことです。取り組んだ結果が上手くいかなかった時、反省点などを明確にして、それを今後に活かしていく基本的なことが重要になります。

また、主体性は自らの人生における船長になることに例えられます。自分で航海図や天気図(状況)を見て目的地(目標)を決め、舵をとり(行動)、問題が生じた場合は、何ができるのかを考えて行動することが、問題を乗り越える自己解決力に繋がります。

更に、主体性が重要視される理由の一つとして、主体性は「人間だけが持つ能力」ということ

があげられます。近年活用されるようになった「AI」は、人が持つ感情や感覚に沿った作品を制作したり、人間の代わりにコンピュータを操作して働く、エージェント(代理人)AIというところまで来ています。しかし、今はまだ指示によって動く人工知能で、「0から1」を生み出せるのは人間だけの能力です。その能力を発揮するために、自ら考え、課題を見つけて取り組む主体性が必要になります。

それでは、どうすれば主体性が身につくのでしょうか。それは、乳幼児期からの育て方に関係があるように思います。子どもが、保護者や周囲の人から認めてもらう受容体験が自己肯定感を生み、物事に積極的に取り組む姿勢に繋がります。そして、周囲に支えられて、様々な体験を積み重ねていくことで、事象を客観的に捉えて判断する力が備わっていきます。

今、「褒めながら育てる」ということについてあらためて考えています。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

三寒四温という言葉のとおり、寒さの中にも少しずつ春の気配を感じる三月を迎えます。保護者の皆様におかれましては、この一年、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

大学・高校・中学校と、各段階で入学試験が行われるこの時期は、生徒たちにとって人生の節目となる大切な季節です。努力の成果が形になる者もいれば、思うような結果に届かず、悔しさや不安を抱える者もいます。しかし、挑戦したという事実そのものが、確かな成長の証であることを、私たち大人は忘れてはならないと思います。寒さ厳しい季節ではありますが、生徒たちの心は未来に向かって燃えている、そんな「熱のある季節」でもあります。

「心ここに在らざれば、

視れども見えず、聴けども聞こえず。」

この言葉を、私は小学二年生のとき、担任の先生から教わりました。当時の私には意味が十分に理解できたとは言えません。しかし不思議なことに、成長の節目、進路に迷った時、人との関係に悩んだ時、必ずこの言葉を思い出してきました。そして、その都度、改めて意味を考えるようになったのです。私は長らく諺だと思い込んでいましたが、実は名言なのだそうです。

日本の子どもたちは、祖父母や両親、周囲の大人から、知らず知らずのうちに諺や言い回しを聞きながら育ってきました。それは私たちの世代に限らず、今の子どもたちも同じでしょう。

最近、私は諺の中にある「一見すると矛盾している表現」に興味を持つようになりました。「急がば回れ」と「善は急げ」、「立つ鳥跡を濁さず」と「旅の恥はかき捨て」、「二兎を追う者は一兎をも得ず」と「一石二鳥」。正反対のことを言っているようですが、実はどれも真実を含んでいます。大切なのは、状

況を見極め、自分で考え、選択する力なのだと思います。

「君子危うきに近寄らず」と「虎穴に入らずんば虎児を得ず」も同様です。日本人は、物事を一方向から決めつけるのではなく、両面から捉える柔軟さを大切にしてきた民族なのではないでしょうか。これは、これからの不確かな時代を生きる子どもたちにこそ、身につけてほしい力だと感じています。

こんな説話があります。

目の不自由な人が、夜道を帰ろうとしたとき、友人から「提灯をお持ちなさい」と言われました。それに腹を立て、「目の見えない私に提灯が必要ですか」と言い返します。すると友人はこう答えました。「あなたには必要ないかもしれませんが、あなたが提灯を持っていなければ、目の見える人があなたに気づかず、ぶつかってしまうかもしれません。」

この話を聞かされたとき、自分がどれほど一面的に物事を見てしまっているか、考えさせられます。

私が敬愛してきた陶芸家、河井寛次郎さんの言葉に、

「鳥が選んだ枝　枝が待っていた鳥」というものがあります。私は長い間、「鳥が選んだ枝」しか考えていませんでした。しかし、「枝が待っていた鳥」という視点に立ったとき、世界の見え方は大きく変わりました。もしかすると、出会いや成長とは、一方的な努力だけでなく、周囲との関係性の中で生まれるものなのかもしれません。

多面的に物事を見る力は、人としての成長の証です。人間関係において相手の立場に立って考える姿勢は、思いやりの心から生まれます。年度の終わりにあたり、生徒たち一人ひとりが、この一年で確かに成長したことを、私たち大人が認め、支えていくことの大切さを、改めて感じています。

新しい春に向けて、生徒たちが自分の歩みを信じ、次の一步を踏み出せるよう、引き続き力を尽くしてまいります。

合掌

卒業を迎えて

3J4 丸山 陽生

「仲間と共に」



三年間の学校生活を振り返ると、本当にあっという間だった。私は野球部に所属し、甲子園出場という大きな目標を掲げて日々厳しい練習に取り組んできた。しかし、高いレベルの試合の中で思うような結果が出ず、悔しい思いをしたことも何度もあった。それでも仲間と声を掛け合い、同じ目標に向かって努力を続けた時間は、自分自身を大きく成長させてくれた貴重な経験である。そして三年生では応援団長を務めた。正直に言えば、悔しさや迷いを感じることもあったが、仲間を信じ、チームのために自分に何ができるのかを考え抜いた結果、全力で応援する道を選んだ。スタンドから声を張り上げ、仲間の背中を押し続けた時間は、決して無駄ではなかった。甲子園出場という夢は叶わなかったが、仲間と同じ目標に向かって戦い抜いた事実は、今も胸の中に強く残っている。グラウンドに立つことはできなかったが、応援団長として仲間を支え続けたこの経験は、これからの人生で大きな力になると確信している。

野球部での経験を通して、体育祭でも団長を務め、選手宣誓を任された。団長として体育祭を成功させなければならないという強い思いから、選手宣誓の内容を何度も考え直した。本番では全校生徒の前に立ち、自分一人ではなく団全体を背負っているという気持ちを強く感じた。その瞬間、仲間を引っ張る立場としての責任の重さを実感すると同時に、一人の力だけでは成功できないことを改めて学んだ。

努力することの意味、仲間と協力する大切さ、そして人の前に立つ責任を学んだこの三年間を、これから先の人生に活かし、次の舞台でも全力で挑戦し続けていきたい。



6年2組 東郷 朱理

「6年を振り返って」



卒業を目前にし、未来への期待や不安など様々な感情が入り混じる中で、私は特に、学友との別れの寂しさと、これまで支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを強く感じています。樹徳に入学してから6年間、時間が経つのはあっという間で、振り返るとこの場所で得た多くの思い出が今でも鮮明に蘇ってきます。

コロナ禍に入学した私たちは、マスクに遮られ友達の笑顔を見ることもかなわず、オンラインでの授業から学校生活が始まりました。クラスメイトとの日常に出遅れてしまった私たちですが、時間を重ねる中で自然と会話が生まれ、少しずつ距離が縮まっていきました。友達との何気ないやり取りや笑い合う時間は、不安や迷いを抱える日々の中で、心の支えとなり、やがて大きな困難に向き合うための基盤となっていきました。受験期に互いに励まし合いながら前を向いて進めたことは、長い時間を共にしてきたからこそ得られた大切な経験です。

友人と過ごす一方で、進路について悩んでいた際には、先生方からの助言や日々の声かけ、入試に向けた支援を通して、自分の考えを整理しながら準備を進めることができました。その積み重ねが自信となり、入試本番の日も落ち着いて、自分らしく試験に臨むことができたと感じています。また、日々の生活の中でも、変わらず寄り添ってくれる家族のありがたさに気がつきました。朝や帰宅したときの何気ない声かけや、温かい食事など、当たり前のように受け取ってきた日常の一つ一つが、私にとってかけがえのないものだったのだと、卒業を迎える今、改めて実感しています。

私が学校に楽しく通い続けられたのは、家族をはじめとする、友人や先生方など、多くの人に支えられてきたからだ確信しています。これから先、きっと新たな壁や試練が立ちちはだかることもあると思います。しかし、樹徳で過ごした6年間で学んだことや、培ってきた友人との信頼、そして積み重ねてきた努力を糧に、乗り越えていきます。そして、これからも感謝の心や謙虚さを忘れず学び続けていきたいと思っています。

卒業生へ饒のことば ~先生方からのメッセージ

一貫6年

いつでも母校に遊びに来て
ください。 冨住

勇気を持って挑戦を続けて下さい
一貫校 新井

作業第一、妄想禁止!
福田

3J1

人事尽くして天命を待つ
村上良太

卒業おめでとう
明るく、正しく、仲良く生きて行こう 戸室

3J2

愚公移山
松永貴史

祝 卒業
木下

3J3

卒業おめでとう!
あな達に何度も救われた。
ありがとう! 田中

以和為貴
若上

3J4

卒業おめでとうございます。
楽しい日々をありがとう!!
これからもみんなのことを応援しています。
梅澤

Be a true
role model. n. snai

3J5

失敗を恐れず何事にもチャレンジ
として頑張ってください!
花房

卒業おめでとうございます
皆君の未来が実り多いものになることを
心から願っています。 大石

3J6



卒業おめでとう!! 内藤
ここからが、君たちの本当の人生です。
本校での学びを糧に、進んでいってください。

3SS

卒業おめでとうございます。
一日一日を大切に
悔いのない人生を歩んで下さい。 丹羽

3K

人は懸命に生きてこそ
人に愛され 活かされる!!
卒業おめでとう!! 飯島弘寿

一生探究!
村上大祐

3S1

J 自分の可能性を信じて、前向きに
T 大変なときこそ、楽しむことを忘れずに
K 感謝を言葉にできる人に 里子口

3S2

自分の人生に後悔しないために
常に謙虚に 常に全力を尽くすこと
そして絶対に自分の夢を諦めないこと 松井

卒業おめでとうございます!
自分も、周りも大切に!! 楓山

学年付

・は、まりもした声で返事・あいさつ
・素早い行動力
この2つは絶対大事です。迷ったら行動する!
応援しています。頑張ってください! 松山拓海

一貫校中学校だより

「嫌われる勇気」

樹徳中学校校長
薊 法明

教育の現場では、教員が「生徒に好かれること」を第一に意識してしまう時、場面があります。それは、注意し、厳しく指導しなければならない事であっても、叱らない、要求しない、波風を立てないという態度をとってしまうという事なのです。けれども、子どもに必要なのは、その場の快適さではなく、将来自由に羽ばたくために身に付けなければならない力なのです。それは、学びの習慣、礼節、他者への配慮、やり抜く力。これらは時に不快さを伴います。「嫌な事を言われた」と思われるかもしれません。しかし子ども達を導くためには「嫌われる勇気」が要ります。

提出物を期限までに仕上げさせること。生活を整えさせること。言い訳せず事実で語らせること。ルールを守れなかったときには、その行動が周囲に与えた影響まで振り返らせること。短期的には反発を招くかもしれませんが、しかし、愛情を持って発した言葉であれば必ず子ども達の心に響きます。教員が担うのは人気取りではなく、成長の伴走者として「できた」を積み重ねさせることです。

さらに大切なのは、公平さです。「好きな子だけ褒める」「注意する相手が日によって変わる」では、子どもは学びではなく顔色を見るようになります。だからこそ、評価の観点や到達目標を明確にし、同じ基準で励まし、同じ基準で立ち止まらせる。探究の発表で厳しい問いを投げるのも、理数の演習で根拠を求めるのも、グローバルな対話で相手を尊重する表現を教えるのも、すべては未来で通用する力に変えるためです。

なぜ必要なのかを言葉で説明し、できたときは心から認め、失敗しても立ち上がる道筋を示す。信頼に支えられた厳しさは、「いちばん自分を見てくれていた、ありがたかった」という記憶に変わります。樹徳中は、心の教育を土台に、子どもの未来に責任を持つために、今日も必要なことを、必要な形で伝え続けます。

参考文献：

岸見一郎・古賀史健『嫌われる勇気』ダイヤモンド社、2013年
文部科学省『生徒指導提要』2022年

◆行事紹介

【2年生 華道教室】

株式会社 花清の社長であり、草心古流三世家元である近藤理創先生を講師に迎え、中学校華道教室が行われました。初めて花を生ける生徒がほとんどでしたが、この日を心待ちにしており、教室は終始和やかな雰囲気包まれていました。初回は「クジャクヒバ」「サンキライ」「カーネーション」「スプレーマム」を使い、クリスマスツリーを制作しました。2回目は春の花である「スイートピー」「ガーベラ」「ルスカス」を剣山に生け、全体の

〈1回目の様子〉



〈2回目の様子〉



【中学生 書道教室】

2学期に引き続き、国語の時間に1年生から3年生までの書道の授業が行われました。今回の課題は、1年生「成功」、2年生「立志」、3年生「四字熟語」です。今年度2回目の書道ということもあり、筆の持ち方や姿勢にも気を配り、前回よりも落ち着いて自分の作品と向き合う姿が見られました。一枚一枚、心を静めながら集中して書き上げる中で、「楽しく取り組めた」という声も多くあ

り、書道への親しみが深まった様子でした。

文字には一人ひとりの個性が表れ、確かな成長が見られました。完成した作品は、各学年の廊下に掲示され、多くの人に見ていただき、生徒たちの努力の成果を伝える良い機会となりました。



幼稚園だより

◆冬から春へ～新年度に向けてのまとめの時期

1年の内で最も寒さが厳しくなる「大寒」を迎えました。ただ、大寒が過ぎる頃になると、少しずつ春に向かい始め、幼稚園の周りの樹木や草花から春の息吹が感じられるようになってきます。「1月は往ぬる。2月は逃げる。3月は去る。」と、日々の時間が過ぎ去るのが速いことを表現している言葉があるとおり、本当にこの時期は実感します。年が明けたと思ったら、今年度も残り2か月となりました。年長組の子どもたちにとっては小学校入学の準備が進められ、期待と不安が少しずつ出てくる時期です。この子どもたちが自信をもって小学校に入学できるように、我々教職員には、卒園までしっかりと教育活動を行い、幼稚園教育を締めくくる責務があります。また、下の学年についても、一つ上がる学年に向けて、今年度身に付けた資質・能力を来年度につなげるようにまとめをしていくことが大事と考えます。

◆禍福は糾える縄のごとし

今年の1月9日のニュースで、丹羽宇一郎氏が死去したことを大きく取り上げていました。その中で、日本に対してこのところ台湾問題で批判や規制をしてきている中国政府が、丹羽氏の死去を受け、深い哀悼の意を表明していました。このことには大変驚きました。それほど、丹羽氏が中国政府からも信頼されていたことが分かります。では、「丹羽宇一郎」氏はどのような人物かということ、元伊藤忠商事の会長さんであり、2010年には民間初の駐中国特命全権大使に任命された方です。

私は、丹羽氏が伊藤忠商事の社長になり、バブル経済崩壊で拡大した約4000億円規模の不良債権を一括処理し、経営難に陥っていた同社をV字回復させた記事を昔読み、すごい人があると感心し名前を記憶していました。そして、丹羽氏が会長職を辞してから数多くの著書を出していることを知り、数冊購入して読んだことがあります。その中の一冊に書かれていた



野球部のお兄さんとの交流②～打つ

「禍福は糾える縄のごとし」という人間の心のあり方について触れていた文章を紹介します。

「あっ、貧乏くじを引いてしまった。」そのように思う瞬間を誰も経験しているのではないのでしょうか。または、「あの人は、いつも貧乏くじばかり引いているよ。」と思われているような人もいます。しかし、貧乏くじを引いたかのように思えることを簡単に損だとか、不幸だと決めつけられるものでもありません。そもそも貧乏くじを引いたかどうかなんてことは、長い目で見なければ分からないのです。

貧乏くじを引いたなと思ったときは、それを悲嘆しても仕方ありません。そんなくじを引いてしまったのは神様のいたずらだと思ってもよいかもしれませんが、結局は自分の責任において考えるべきことです。いろいろな運の巡り合わせでそうなった面もあるし、自分の選択がそのような状況を招いたとも言えます。どのような条件が重なってそうなったかはよく分からなくても、自分の考え方や行動の積み重ねの結果から、貧乏くじを引いたような状況になったことだけは間違いありません。環境や他人のせいにしても何も始まりません。貧乏くじを引いてしまったなと思ったときは、腐らず、やるべきことを冷静に見据えて、その後も真剣に日々努力を続けることです。一時不運に見えることはどこかで幸運につながっていったりするものです。その逆ももちろんあるものですが、貧乏くじを引いたなと感じたときは、そのような心持ちで事に対処していけば、どこかで好転するかもしれません。最後の瞬間まで勝負は続くのです。

園長 佐野 悦生



野球部のお兄さんとの交流①～投げる



年長児による書き初め「うま」

令和7年度・8年度入園児募集中

◎2歳・3歳・4歳児の入園をお待ちしています。

◎募集人員：2歳児 10名、3歳児 10名、4歳児 10名

○入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。

○お問い合わせ：（認）樹徳幼稚園 佐野まで。☎0277-53-5571

桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

QRコードは、インスタグラム（幼稚園生活の様子）です。



@JUTOKUKINDERGARTEN

2月(忍辱)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	日			
2	月	2年生ベネッセ大学入学共通テスト模試 (～7日)	校内安全点検日 中高LHR 頭髮服装指導 少林寺拳法1年生	安全点検日 リズム・線 (年少) 新入園児生活説明会 (～6日)
3	火	校内安全点検 3年担任宛成績提出	節分会 5年生進研共通テスト模試 (～7日)	大節分会 (大善寺)
4	水	探究・LHR マイトリー基金抛金日 県校長会	マイトリー基金抛金日 総合学習 医療倫理・医系進学講座	英語・文字 (年長)
5	木	教務宛成績提出 授業料納入日 (3年2・3月分) 第3回諸費納入日	授業料納入日 (6年2・3月分) 月曜日の授業実施	体育・文字 (年中)
6	金	3年生家庭学習指導 私学保護者会連合会理事会 (常磐)	3年生茶道教室 6年生家庭学習指導 第3回漢検	文字 (年長)
7	土		第三期中学入試	開園日 (預かり保育)
8	日			
9	月	3年生家庭学習開始 後援会役員会④	少林寺拳法 1年生 中学朝礼 高校LHR 6年生家庭学習	リズム・線 (年少)
10	火	入学追試験合格発表日	2年生華道教室	保育料納入日 文字 (年長)
11	水	建国記念の日		
12	木	朝礼	1・2年スキー教室 (～13日) 高校朝礼 3年生実力テスト	体育・文字 (年中)
13	金		3年生茶道教室	お誕生会 (1・2・3月生まれ)
14	土		入学説明会 (午前) 第3回数検 1～5年生対象 学校説明会 (午後)	開園日 (預かり保育)
15	日	涅槃会	涅槃会	
16	月	卒業成績会議 (15:00～)	中高LHR 高校卒業成績会議	リズム・線 (年少)
17	火			ボール投げ教室⑨測定 (年中・年長)
18	水	探究・LHR	立志式 2年生華道教室 中学生3限授業	お茶のお稽古⑦ (年長) 英語
19	木	制服アフターサービス	三越アフターサービス 少林寺拳法 3年生	体育・文字 (年中)
20	金		雛人形飾り (～24日)	涅槃会 (大善寺)
21	土		土曜補習 (4・5年生)	開園日 (預かり保育)
22	日			
23	月	天皇誕生日		
24	火			たけ組保育参観
25	水	探究・LHR 2年生探究活動報告会	中学早朝自主学習 (～3/6) 総合学習	さくら組保育参観
26	木	卒業式会場作成 7時限大掃除	高校 卒業式会場作成	もも組保育参観
27	金	卒業式予行演習・予餞会 出欠統計提出	高校卒業式予行演習・予餞会	ひよこ・すみれ組保育参観
28	土			開園日 (預かり保育)

行事予定は変更になる場合があります。ご注意ください。



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」

2月、3月の予定は未定です。

3月(智慧)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	日	卒業式 校内安全点検 英検③(二次)	高校卒業式 英検③(二次) 校内安全点検	
2	月	振替休日(3/1)		安全点検日 線(年少)
3	火	学年末試験(～6日)	高校 学年末試験(～6日) 中学自主学習DAY	文字(年長)
4	水		中学 学年末総まとめテスト(～6日)	お茶のお稽古発表会(年長親子)
5	木	授業料納入日 マイトリー基金抛金日		文字(年中)
6	金	市街地清掃	市街地清掃	お別れ遠足
7	土			開園日(預かり保育)
8	日			
9	月	写真撮影(1・2年生) 地震防護・防火避難訓練②	写真撮影(1・2・4・5年生) 中高LHR 頭髪服装指導	線(年少)
10	火		中学 学年末保護者会	保育料納入日
11	水	探究・LHR 制服アフターサービス	総合学習	英語・文字(年長)
12	木			体育・文字(年中)
13	金	担任宛成績提出(13:00) 第3回法人役員会(13:30～)	担任宛成績提出(13:00) 第3回法人役員会	お別れ会
14	土		土曜補習	開園日(預かり保育) 父の会イベント
15	日			
16	月	平和学習(1年生)	教務宛成績提出(13:00)	リズム・線(年少)
17	火	教務宛成績提出		卒園式全体練習
18	水	入学手続き②(9:00) 成績会議(14:00)	高校 成績会議(14:00)	卒園式予行練習
19	木	視聴覚教室(10:30) 大学合格体験報告会	視聴覚教室②(10:30)	第73回卒園式
20	金	春分の日		
21	土			開園日(預かり保育)
22	日			
23	月	終業式(大掃除・学年別一斉指導)	終業式 大掃除 中学校卒業証書伝達式	卒園児預かり保育① 線(年少)
24	火	生徒春休み 奨学生審査会③ 部活動強化合宿開始	中学リステ・高校リベハイ(～26日) 中学校学習支援期間(～26日)中高一貫学力向上会議	じゃがいもの種手植え(年中) 卒園児預かり保育②
25	水	学籍整理・年度末事務	学籍整理・年度末事務	卒業児預かり保育③ 文字(年中)
26	木	学籍整理・年度末事務 新入生進学クラスオリエンテーション13:00～	学籍整理・年度末事務	令和7年度修了式 卒業児預かり保育④
27	金	学籍整理・年度末事務	学籍整理・年度末事務	春休み①(～4/7) 預かり保育①卒園児預かり保育⑤
28	土			開園日(預かり保育)
29	日			
30	月	学籍整理・年度末事務	学籍整理・年度末事務	春休み② 預かり保育②卒園児預かり保育⑥
31	月	学籍整理・年度末事務	学籍整理・年度末事務	春休み③ 預かり保育③卒園児預かり保育⑦

行事予定は変更になる場合があります。ご注意ください。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく